科目名	人体構造機能論 2							年度	2025
英語科目名	Human Anatomy 2								後期
学科・学年	医療事務科 1年次	必/選	必	時間数	45	単位数	3	種別※	講義
担当教員	宇南山伸	教員の実務経験		有	実務経験の職種		鍼灸師		

# 【科目の目的】

人の身体を構成している体液・血液、循環器系、呼吸器系、消化器系、非尿器系、内分泌・生殖器系、筋肉、神経系、感覚器系 についての生理機能、各器官の機能と役割、これを構成する「細胞」や「分子」のはたらきに基づいて理解し、各器官系の正常 な働きの仕組みを理解できることを目的とする。

# 【科目の概要】

人体の基本的仕組み(解剖学、組織学)、働き(生理学)を学びます。

# 【到達目標】

- A 消化器の構造と機能が理解できる
- B 泌尿器系の構造と機能が理解できる
- C 上肢・下肢の骨と筋肉が理解できる

#### 【授業の注意点】

人の身体の仕組みを理解するには、まず、どこに何があり、どんな動きをしているかを知るところからである。授業の中では図

も交えながら、部位の名前、機能を説明する。 授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。また、授業時数の4分の3以上出席しな い者は試験を受験することができない。授業の進捗状態により内容が前後する場合がある。

評価基準=ルーブリック							
ルーブリック	レベル5 レベル4		レベル3	レベル2	レベル1		
評価	優れている	よい	ふつう	あと少し	要努力		
到達目標 A	消化器の構造と機能に ついて理解でき、他者 を指導できる	消化器の構造と機能に ついて理解でき、他者 を説明ができる	消化器の構造と機能に ついて理解できてる	消化器の構造と機能に ついて知っている	消化器の構造と機能に ついて知っていない		
到達目標 B	泌尿器の構造と機能に ついて理解でき、他者 を指導できる		泌尿器の構造と機能に ついて理解できてる	泌尿器の構造と機能に ついて知っている	泌尿器の構造と機能に ついて知っていない		
到達目標 C	上肢・下肢の骨と筋肉 の構造と機能について 理解でき、他者を指導 できる	上肢・下肢の骨と筋肉 の構造と機能について 理解でき、他者を説明 ができる		上肢・下肢の骨と筋肉 の構造と機能について 知っている			

# 【教科書】

病気の地図帳/講談社、からだの地図帳/講談社

# 【参考資料】

# 【成績の評価方法・評価基準】

課題、小テスト、試験等を含めて総合的に評価する。

※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。

科目名		人体構造機能論 2				年度	20	)25
英語表記		Human Anatomy 2					後	期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容 到達目標=修得するスキル			評価方法	自己評価	
1	人体	消化器	1	食道	食道について理解できる		1	
5	人体	消化器	1	胃	胃について理解できる		1	
3	人体	消化器	1	十二指腸	十二指腸について理解できる		1	
4	人体	消化器	1	小腸	小腸について理解できる		1	
5	人体	消化器	1	大腸	大腸について理解できる		1	
6	人体	消化器	1	肝臓	肝臓について理解できる		1	
7	人体	消化器	1	肝臓	肝臓について理解できる		1	
8	人体	消化器	1	膵臓	膵臓について理解できる		1	
9	人体	消化器	1	腹膜	腹膜について理解できる		1	
10	人体	消化器	1	腎臓	腎臓について理解できる		1	
11	人体	泌尿器	1	膀胱	膀胱について理解できる		1	
12	人体	泌尿器	1	生殖器系	生殖器系について理解できる		1	
13	人体	上肢・下肢の骨と筋肉	1	上肢の骨と筋肉	上肢の骨と筋肉について理解できる		1	
14	人体	上肢・下肢の骨と筋肉	1	下肢の骨と筋肉	下肢の骨と筋肉について理解できる		1	
15	人体	まとめ	1	まとめ	まとめについて理解できる		1	
評価	<u>.</u> i方法:1. 小テスト、	2. パフォーマンス評価、	3.	<u>.</u> その他				_

自己評価:S:とてもよくできた、A:よくできた、B:できた、C:少しできなかった、D:まったくできなかった